



Arcserve が選ばれる 5つの理由

2020年7月版

Arcserve Japan



Arcserve が選ばれる 5つの理由 (わけ)

1. 導入実績と日本市場での経験
2. ニーズに応えた豊富な機能
3. クラウドも強力サポート
4. 購入が容易
5. 導入前後も充実した支援体制

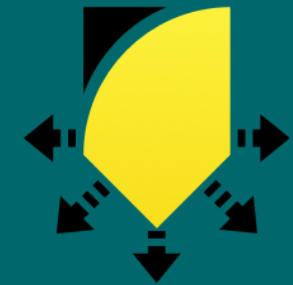


1. 導入実績と日本市場での経験

導入実績は長年に渡り

ユーザ様&パートナー様のご期待と信頼に

しっかりとお応えしてきた証しです

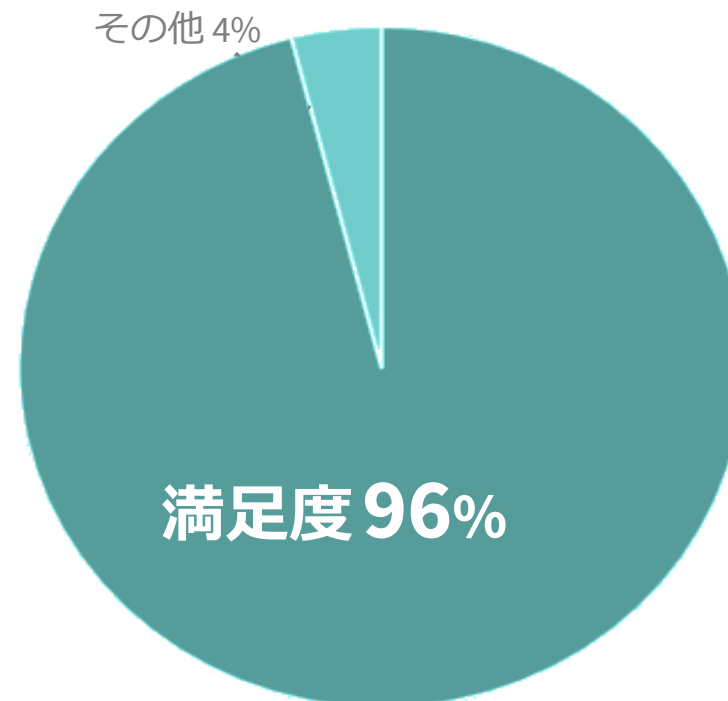
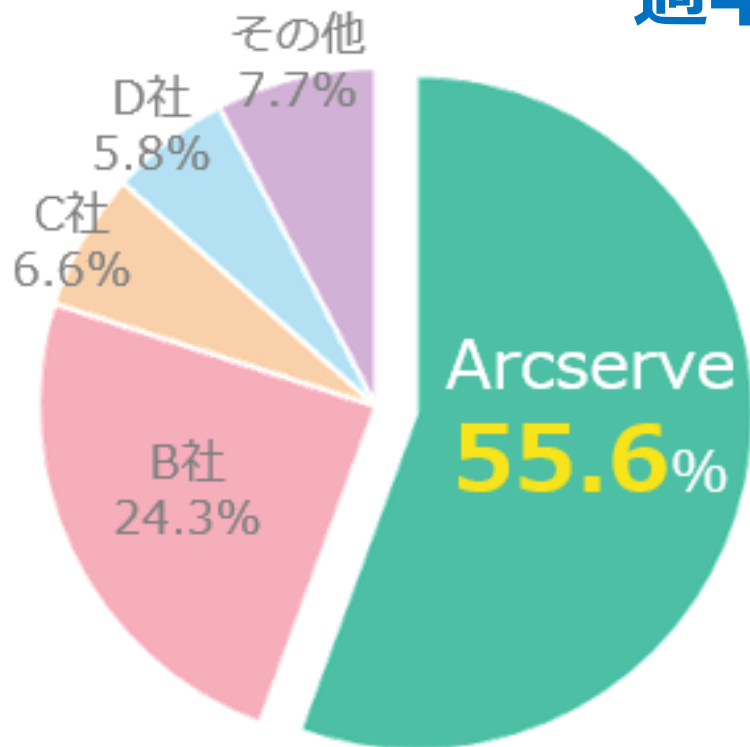




豊富な導入実績 = 蓄積された日本市場での経験

10年以上に渡り国内 Windows 環境のバックアップ ソフトウェアで、実績 **No.1** ※

過半数のシェアを維持



※ 出典：
ミック経済研究所
ミドルウェアパッケージソフトの市場展望 2016年度版
「Windows版におけるバックアップ出荷金額（メーカー出荷）」(2016年度見込)

【サポート満足度調査】

Arcserve Japan アンケート調査
(サポート完了時のアンケート 3,200件を対象)



2. ニーズに応えた豊富な機能

イメージ バックアップをベースに
Arcserve シリーズを統合した
Arcserve Unified Data Protection (UDP)





Arcserve Unified Data Protection (UDP)

イメージバックアップをベースにArcserveシリーズ
を統合したバックアップソリューション

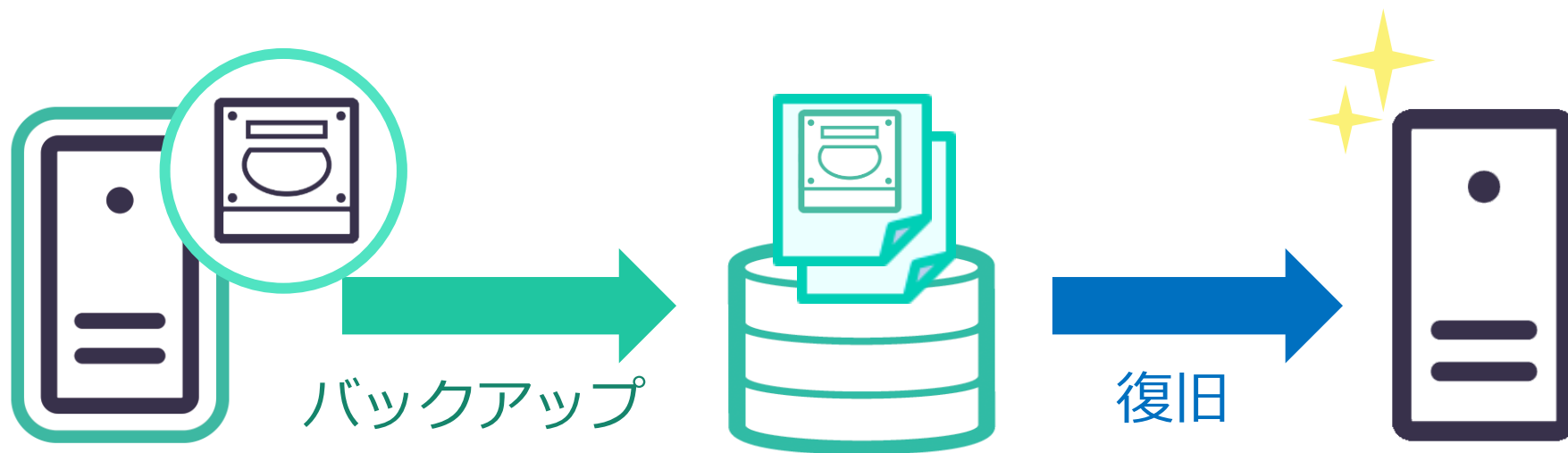




簡単イメージバックアップ Arcserve UDP

イメージバックアップとは

イメージバックアップとはファイル単位ではなく、ハードディスク全体を丸ごとバックアップし、ファイルに保存するデータ保護手段。OSを含め一気にリカバリできるのでシステム全体を簡単に復旧できます



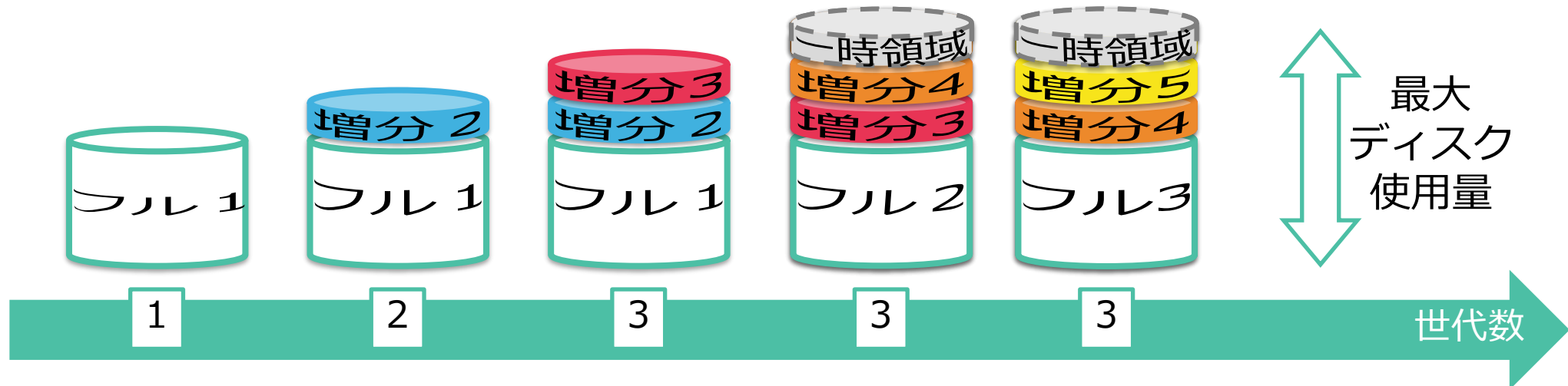
Arcserve UDP は異なる機種への復旧や P2V も標準サポート！



バックアップもリストアも速い

初回のみフル バックアップ。指定した保存数を超えると最も古い増分データを自動的に合成（マージ）するので、**フル バックアップの取り直し不要**
リストア操作は1回だけ

バックアップを3世代保存する場合（概念図）



※初期設定では7個を保持(最大1440個まで設定可)

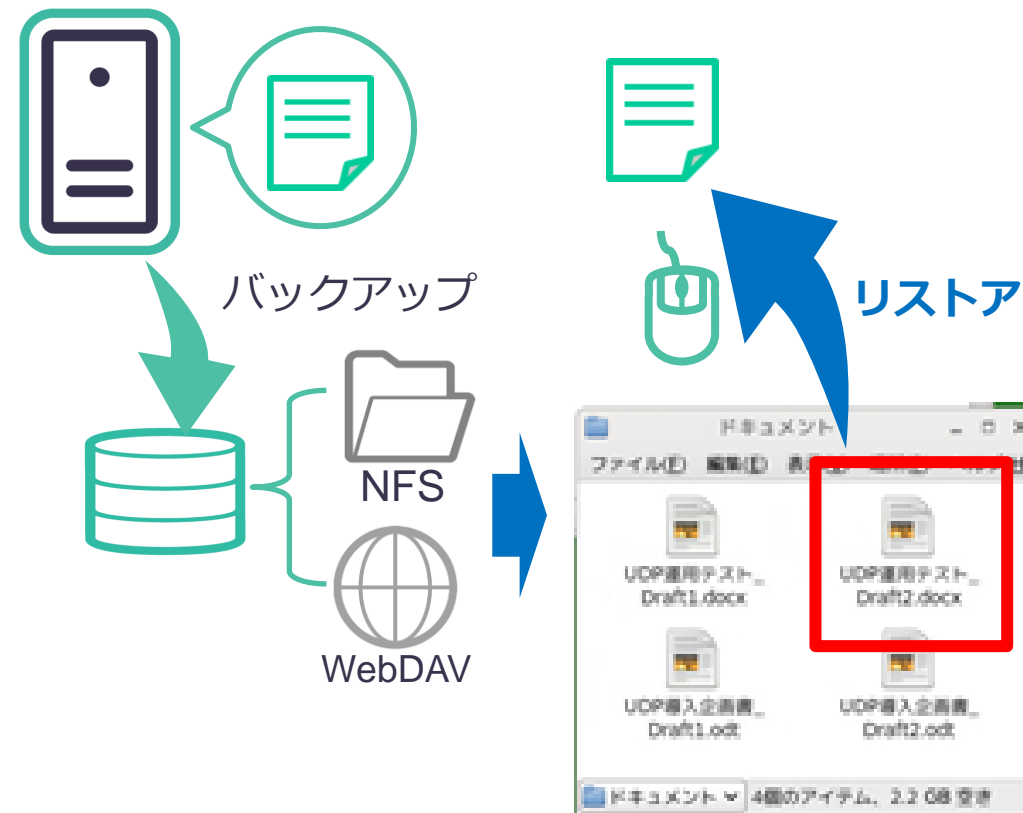


ドラッグ & ドロップによる簡単ファイルリストア

Windows 環境



Linux 環境

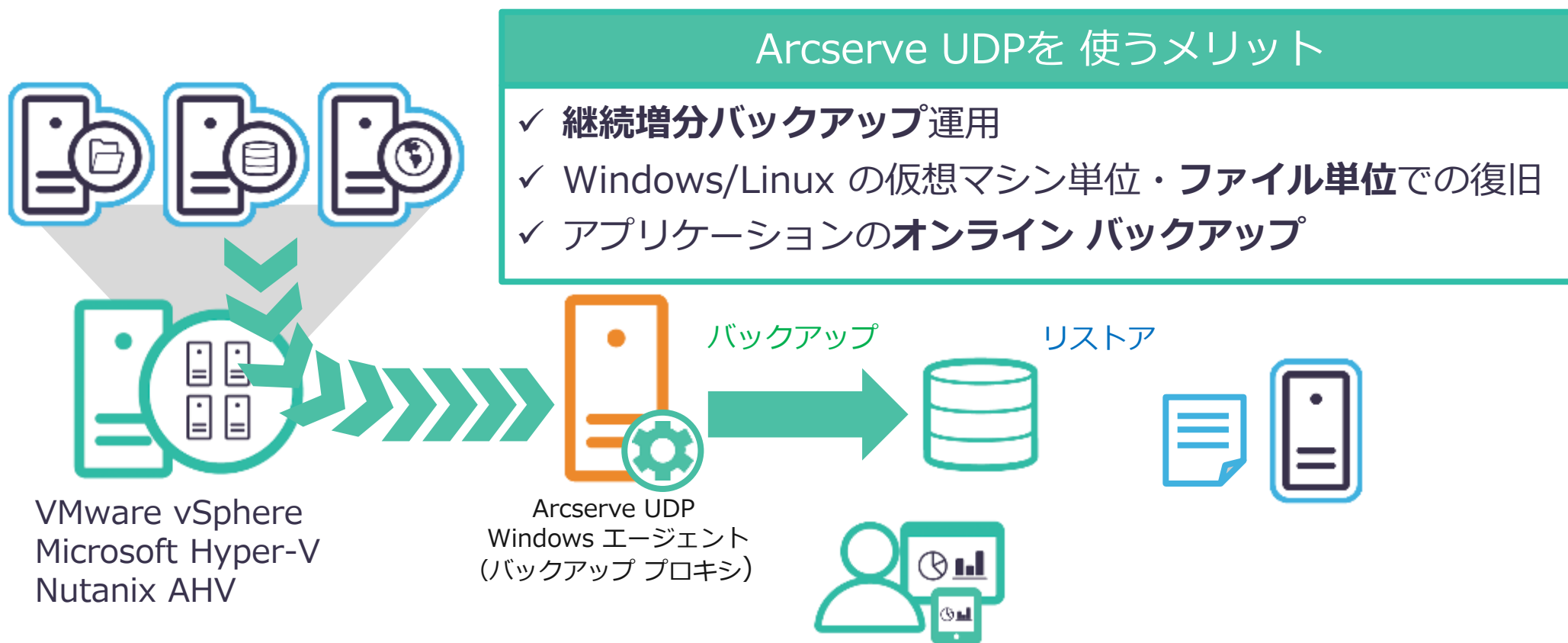


手馴れた操作で 誰でも 簡単に必要なファイルをリストアできます



仮想環境はエージェントレス バックアップ

ゲスト OS に依存しない仮想環境の簡単保護

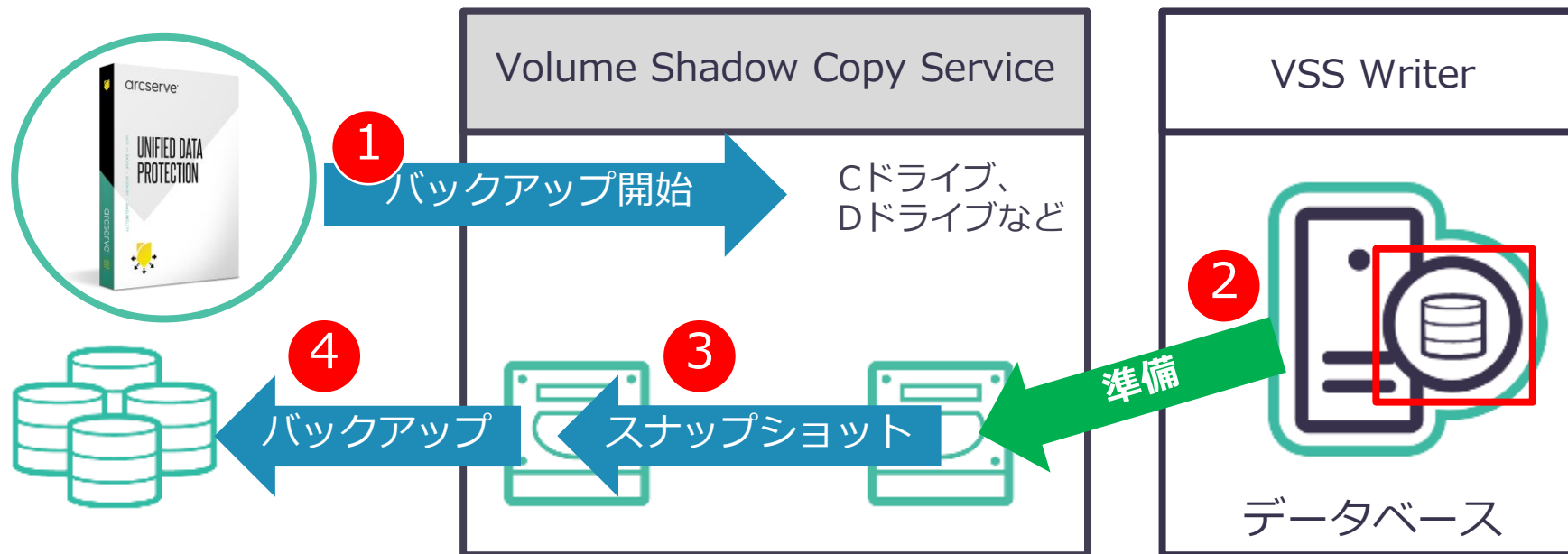




アプリケーション サーバも簡単保護

アプリケーションの VSS Writer とスナップショットを連携

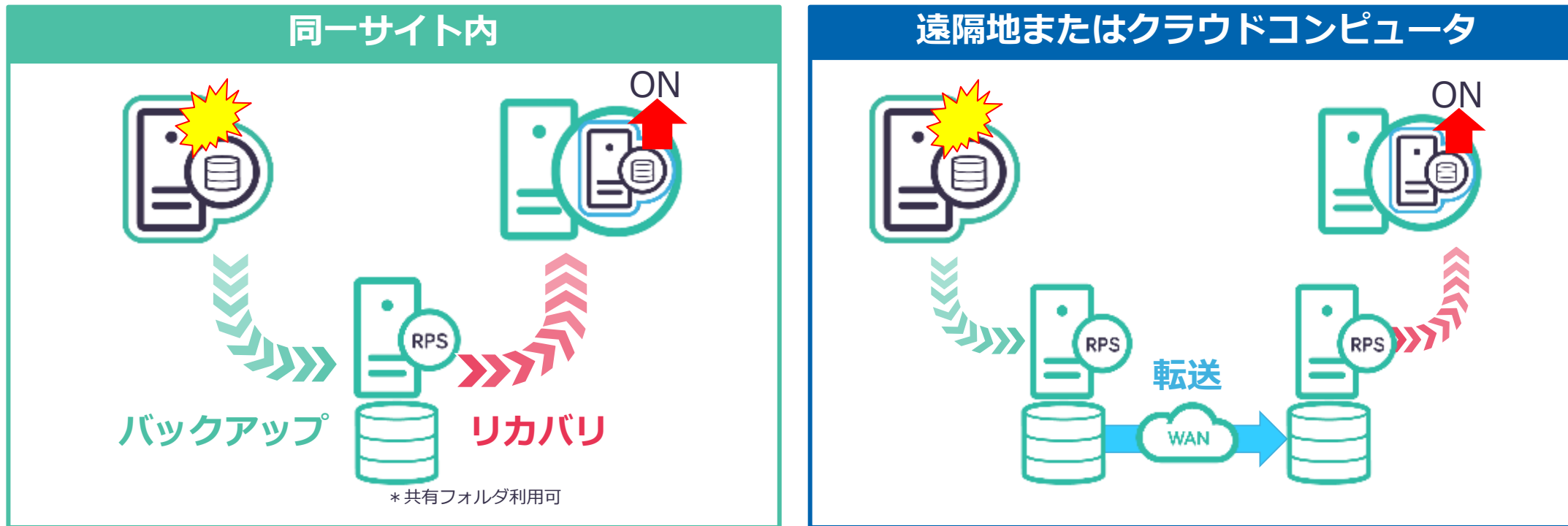
- Microsoft SQL / Exchange / SharePoint、Oracle それぞれの VSS Writer が、整合性の取れたデータを準備
- Volume Shadow Copy Service がボリューム単位のスナップショットを取得





仮想スタンバイ サーバによる業務継続

業務サーバの障害後、リカバリ済みの仮想マシンを**即起動**



復旧済みの仮想マシンで素早く業務を再開

ローカル / 遠隔地でも構成できる

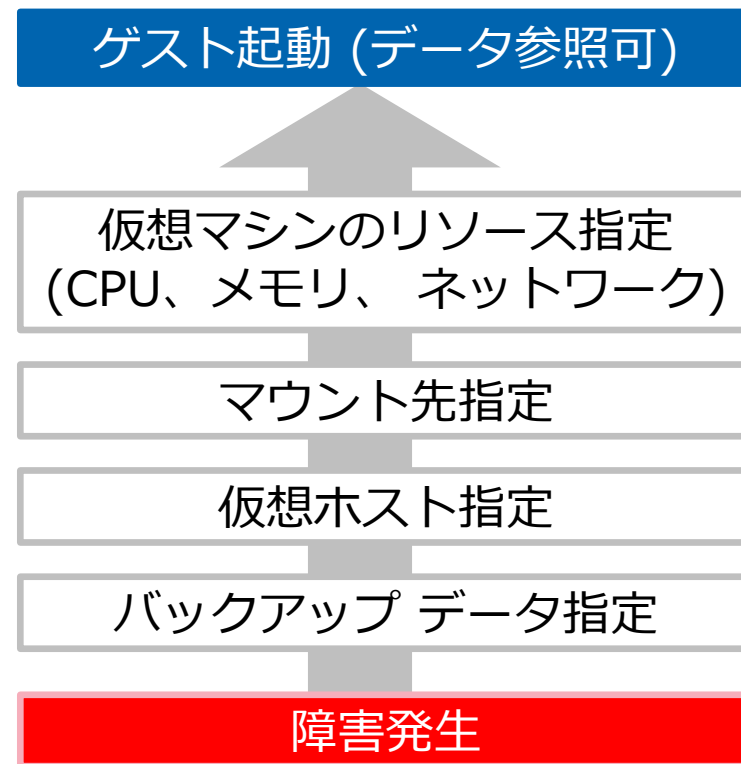
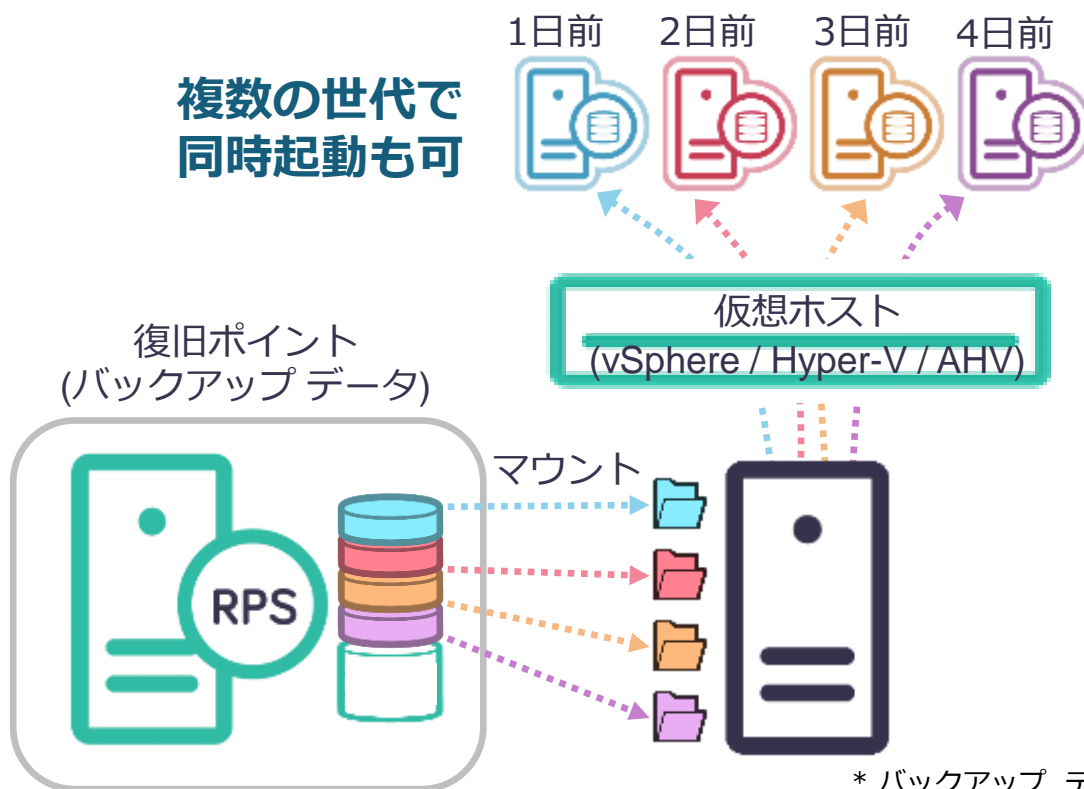
複数のスナップショットから適切な時点に戻せる

※ Windows 環境でサポート、IPアドレスを変更して起動可



インスタント VM で本番サーバの替わりを即利用

業務サーバの障害後、バックアップ データから仮想マシンを**即時作成**
事前準備不要、**4ステップのウィザード**で、業務サーバを起動



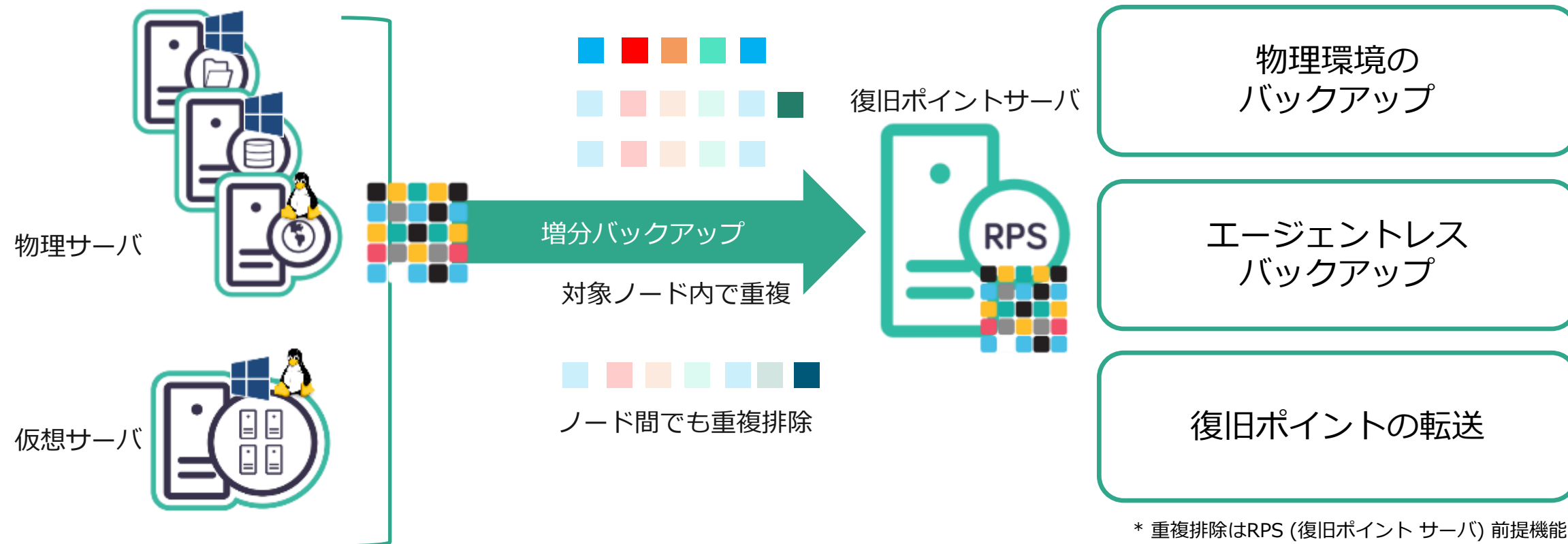
* バックアップ データの転送との組み合わせも可、ホスト名とIPアドレスを変更して起動可
** Windows / Linux 環境をサポート



コストも抑える高速バックアップ

標準機能でバックアップ データを**重複排除**

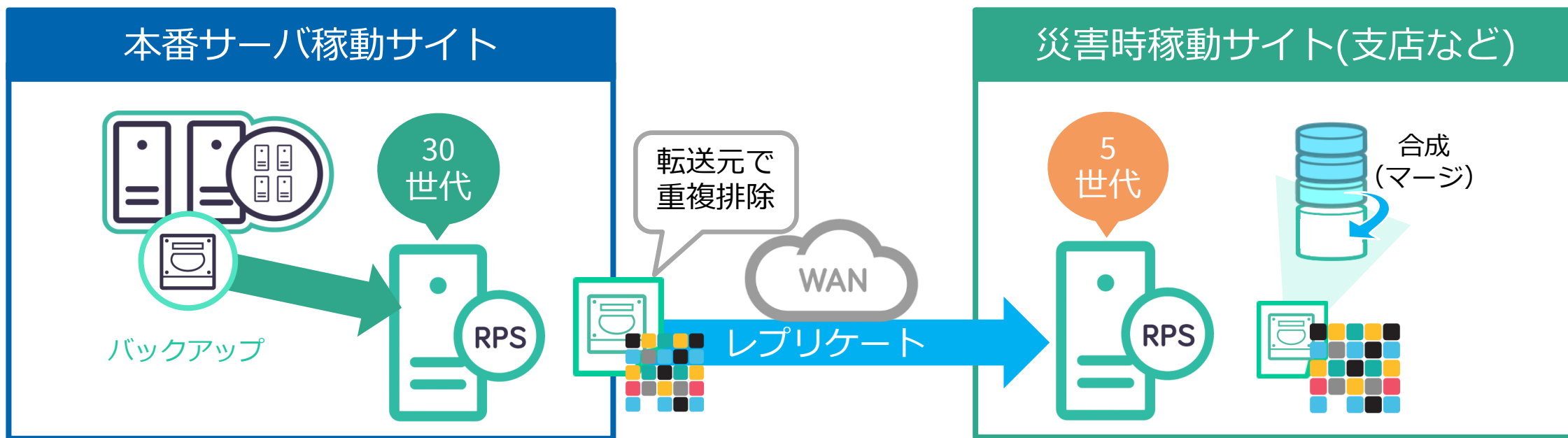
同一ノード内のほか、**異なるノード間**でも重複排除を実施*





バックアップデータの遠隔地への転送

重複排除で最小サイズにて災害対策サイトに**レプリケート**
ネットワークの寸断/断線も考慮した安心の**リトライ機能**付き



重複排除で回線
使用量を更に削減

特定の曜日・時間の指定
や帯域を制御

転送先での世代数を
自由に設定できる



バックアップ専用アプライアンス ここがすごい！ Arcserve UDP 8000

中規模環境のバックアップをより**簡単・シンプル**にできます

1. インストール不要の簡単セットアップ

バックアップ/リカバリに必要な管理コンポーネントはすべてインストール済。ウィザードに従い基本的な設定をするだけで**すぐに使えます**。

2. バックアップ用に最適化されたハードウェア

重複排除機能用のSSDを標準搭載。**メモリ/SSDのサイジングが必要ありません**。

バックアップ先の容量を 4TB ~ 80TB の間で選ぶだけ！

3. Arcserve UDP のライセンスを使い放題

バックアップ対象の数や容量に関わらず、Arcserve UDP Advanced Edition のライセンスが使い放題。後から**サーバ台数が増えても安心**です。



Arcserve UDP 8000 シリーズ充実サポート

サポート窓口

お客様によるSW/HWの問題
切り分け不要

メンテナンス期間

納品から**5年間**の
メンテナンスが標準セット

- ハードウェア故障には **オンサイト**（現地訪問）対応が可能
（現地訪問は問題特定から4時間駆けつけ目標※）
- Arcserve UDP の **無償アップグレード** が可能 ※※

※ サービス拠点(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡)より30km圏内での目標となります。

※ サポートの受付/作業時間は平日9時～17時30分です。ハードウェア サポートの受付/作業時間を延長する「24時間/365日ハードウェア サポート オプション」もあります。

※※ アップグレード作業はお客様にて実施いただきます。



Arcserve クラウド サービス

ここがすごい！ Arcserve UDP Cloud Hybrid

Arcserve UDP で守られているシステムに**遠隔バックアップ**をプラスできます

1. 災害に備えた 遠隔バックアップ サービス

日本国内の東西**2つのリージョン**を選択できます。

遠隔地にバックアップデータを複製でき、**災害や障害の対策**ができます。

2. クラウド上で本番システムを業務継続

災害時にも止められない重要なシステムをクラウド上の代替仮想マシンを起動し、**業務継続**ができます。

3. 構築・運用の手間が不要

Arcserve がクラウド上にバックアップデータの**複製先を提供**します。

災害対策サイト構築の手間と時間を省き、**運用コストを節約**できます。



3. クラウドも強カサポート

I. Arcserve クラウド：初期費用はストレージのみ

II. パブリック クラウド：3つの側面からクラウド活用

- ① クラウドで災害対策
- ② クラウドで即！事業継続
- ③ クラウド環境を保護





I. Arcserve クラウド : 初期費用はストレージのみ

重複排除済データ TB単位/年の 定額課金 で安心

Arcserve UDP Cloud Hybrid

重複排除

RPS

復旧ポイントサーバ (RPS)

TB単位の年契約

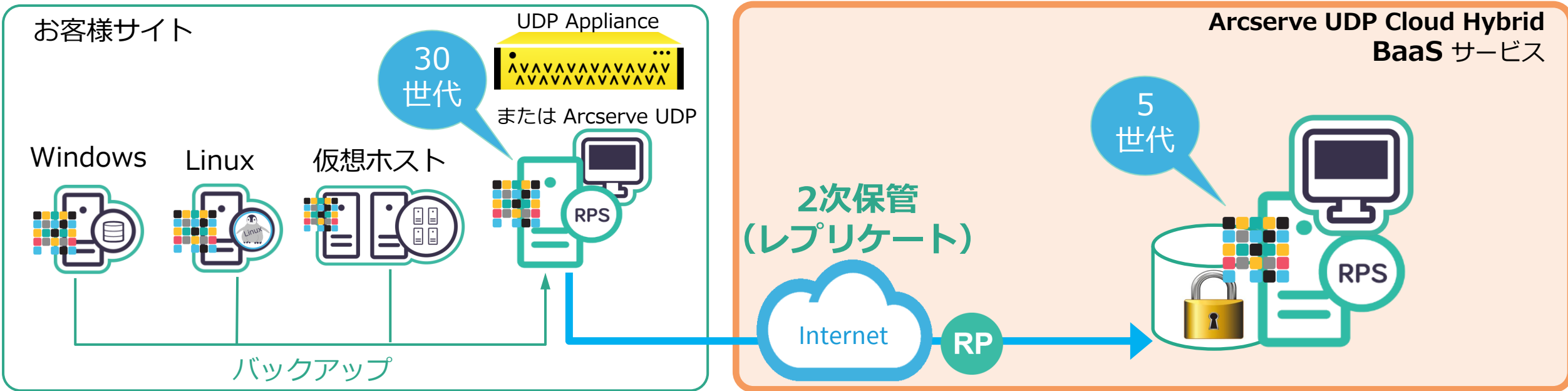
初期費用 : ストレージの費用のみ

- ✓ データ転送による課金無し



Arcserve UDP Cloud Hybrid : Arcserve UDP 2次バックアップ

Arcserve UDP の RPS (復旧ポイントサーバ)/ Arcserve UDP Appliance
のバックアップデータを Arcserve クラウドへ **2次保管**



重複排除で回線
使用量を更に削減

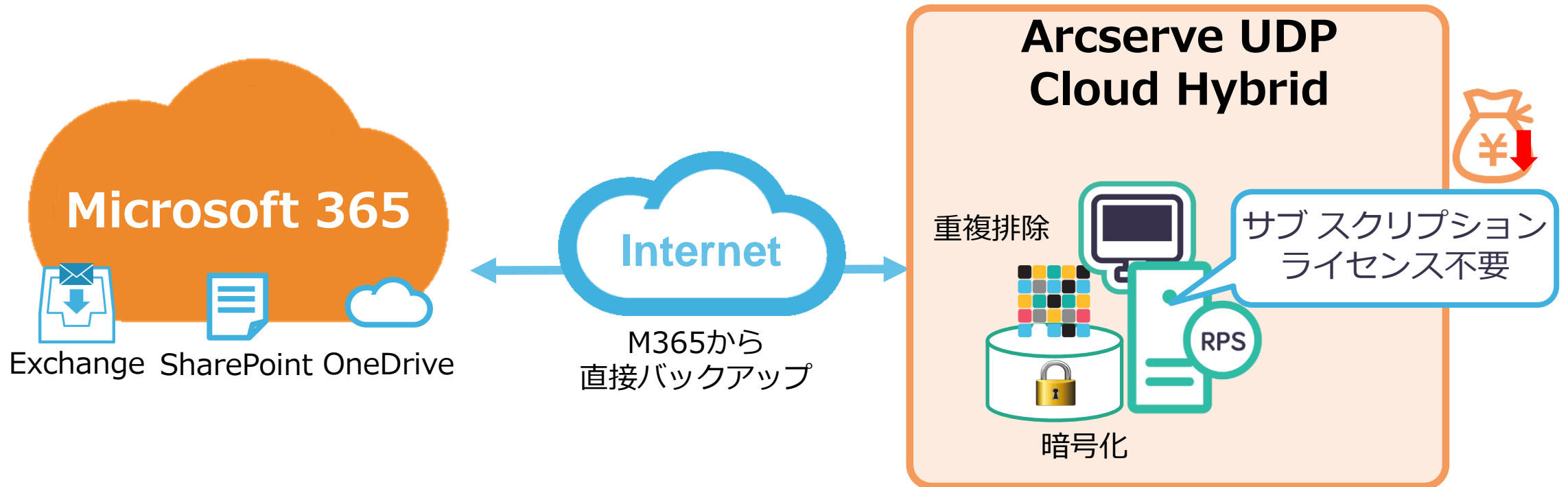
帯域制御、特定の曜日/
時間指定の転送

転送先を個別の
世代設定で管理



Arcserve UDP Cloud Hybrid : Microsoft365 のバックアップ

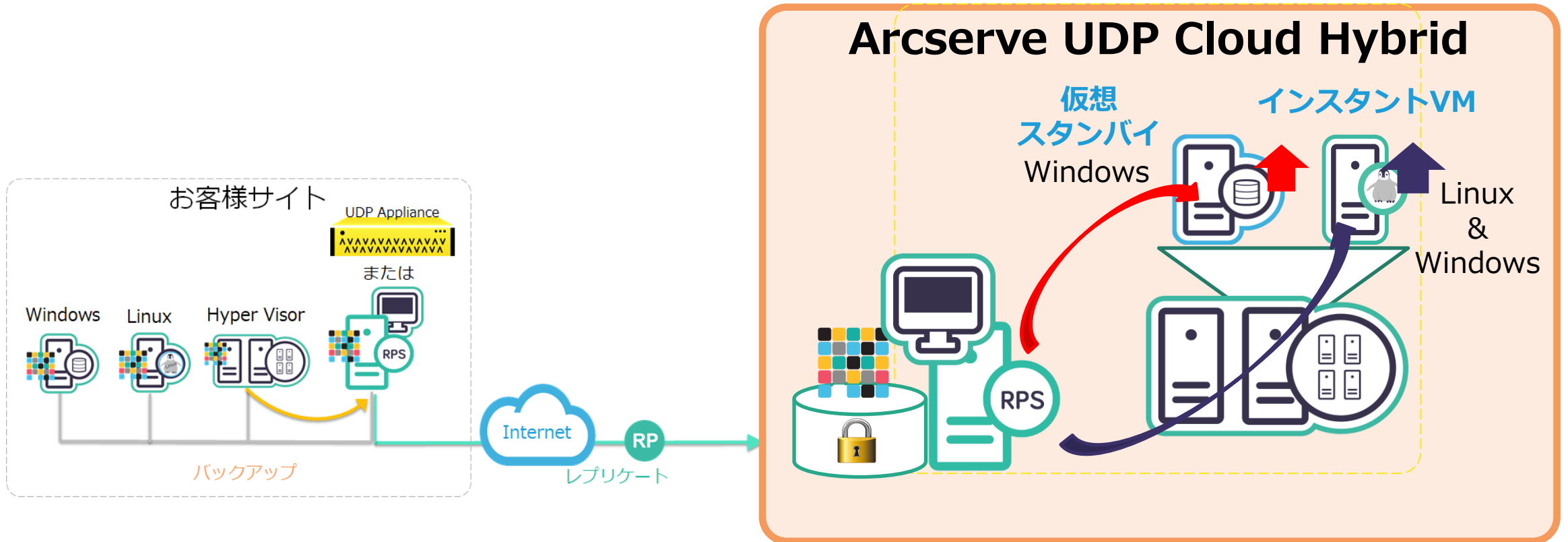
追加ライセンス不要で Microsoft365 をクラウドへ「直接」バックアップ





Arcserve UDP Cloud Hybrid : 業務継続

インスタントVM & 仮想スタンバイで業務継続





II. パブリック クラウド : 3つの側面からクラウド活用

①

クラウドで
災害対策

オフサイト保管:

- A) 復旧ポイントを
レプリケーション
- B) 復旧ポイント、
またはファイルをコピー

ダイレクト バックアップ:

- C) LinuxサーバをS3へ
直接バックアップ

②

クラウドで即！
事業継続

**バックアップ データを
用いた事業継続:**

- D) EC2/AzureでWindows
サーバを仮想スタンバイ
- E) EC2/AzureでLinuxサーバ
をインスタントVM

③

クラウド環境を
保護

IaaS/PaaS:

- F) クラウド コンピュータを
バックアップ

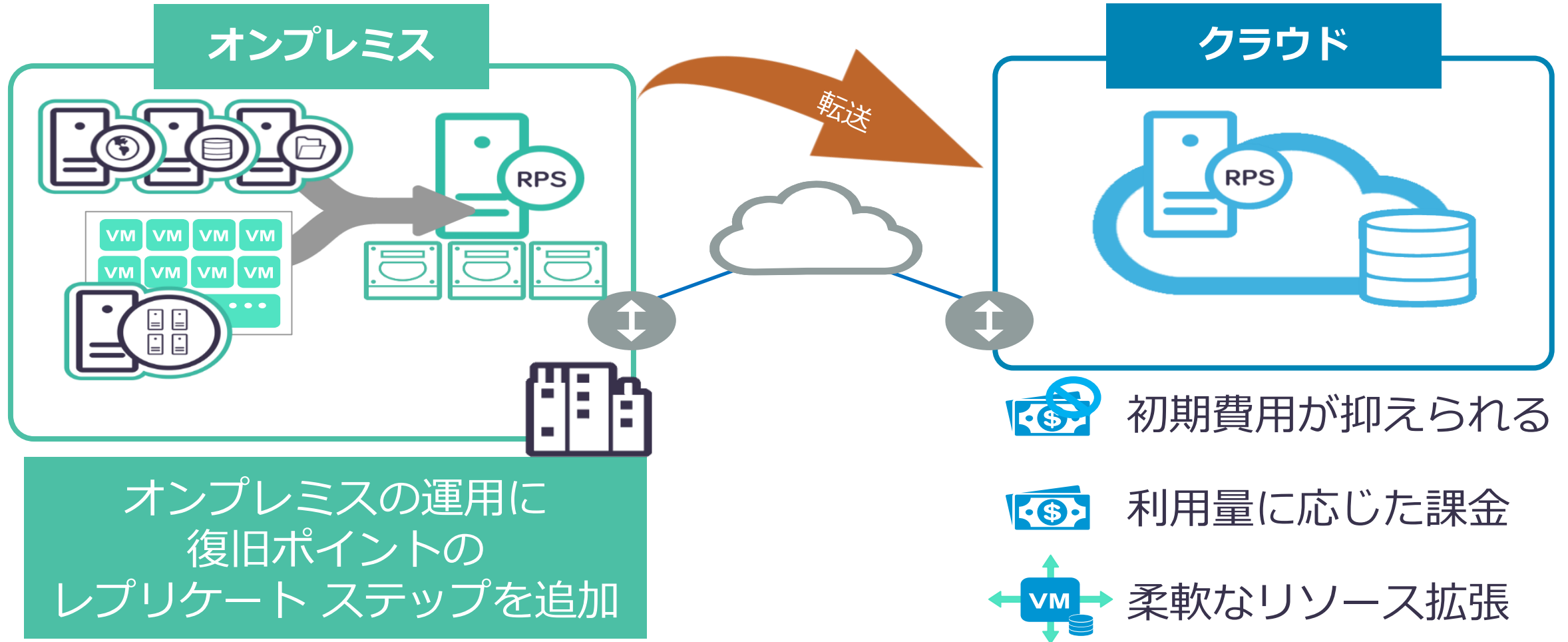
SaaS:

- G) Microsoft 365を
バックアップ
(Exchange / SharePoint)



A) 復旧ポイントをレプリケーション

バックアップ データを **クラウド保管**





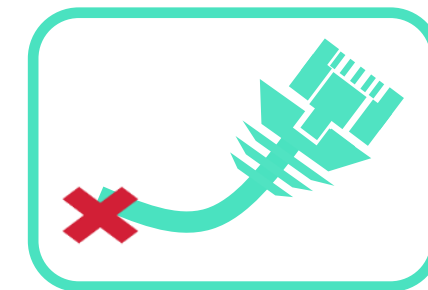
転送における 3 つの不安を解消

1) 回線に負荷を与えない?

- ✓ 永久増分と重複排除で転送データを最小化

2) 回線障害の影響は受けない?

- ✓ 寸断/短い断線時: リトライで再送
- ✓ 長い断線時: 次回の転送時に未送信データのみ再送



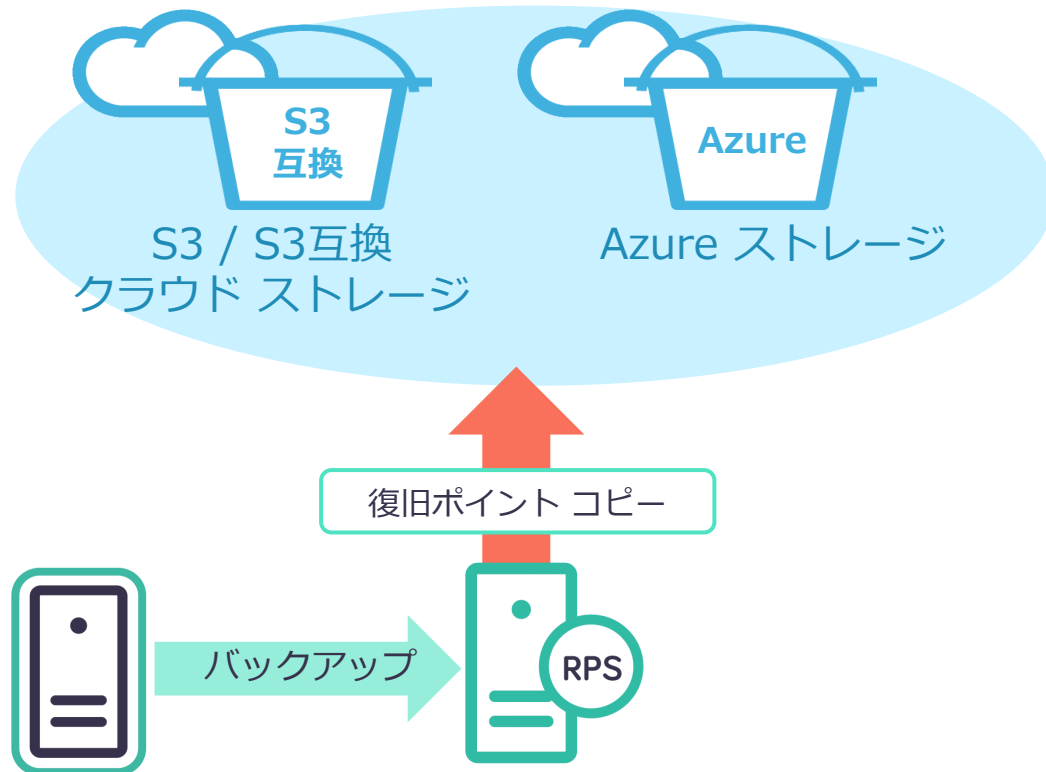
3) 本番業務に影響しない?

- ✓ 指定した曜日や時間ごとに転送速度を調整
- ✓ スロットルで1分あたりの転送速度を調整

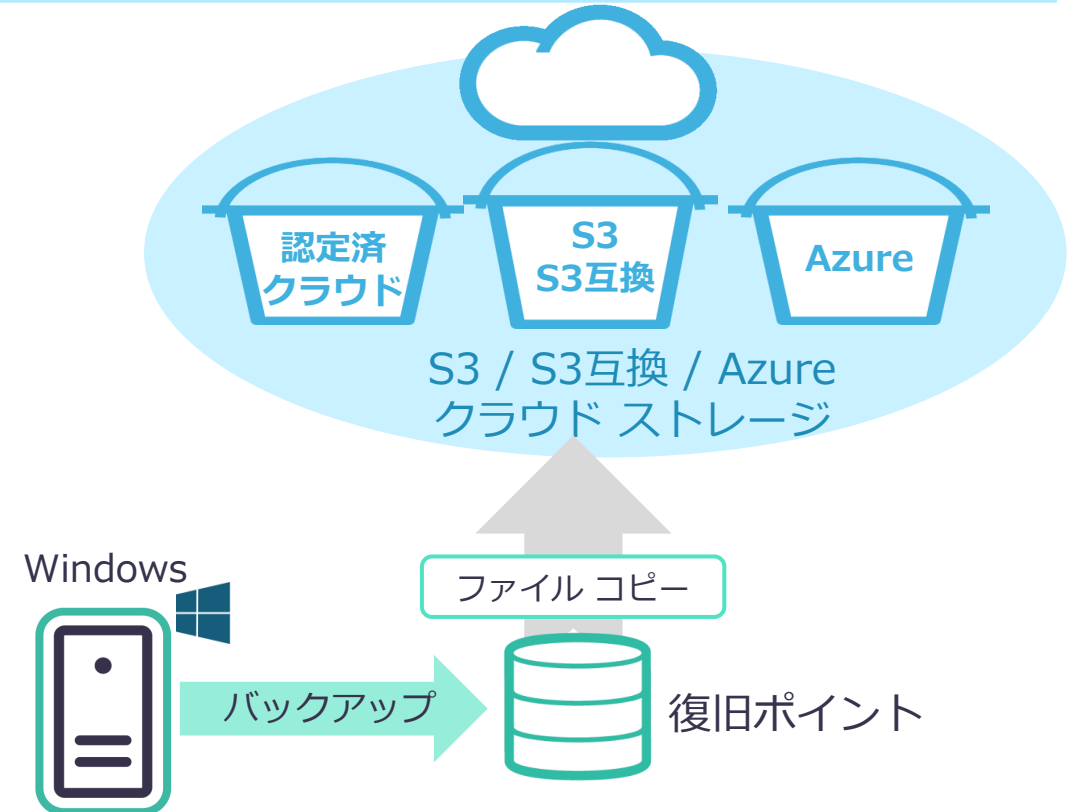


B) 復旧ポイント、またはファイルをコピー

復旧ポイントをクラウドに保管



重要ファイルだけをクラウドに保管

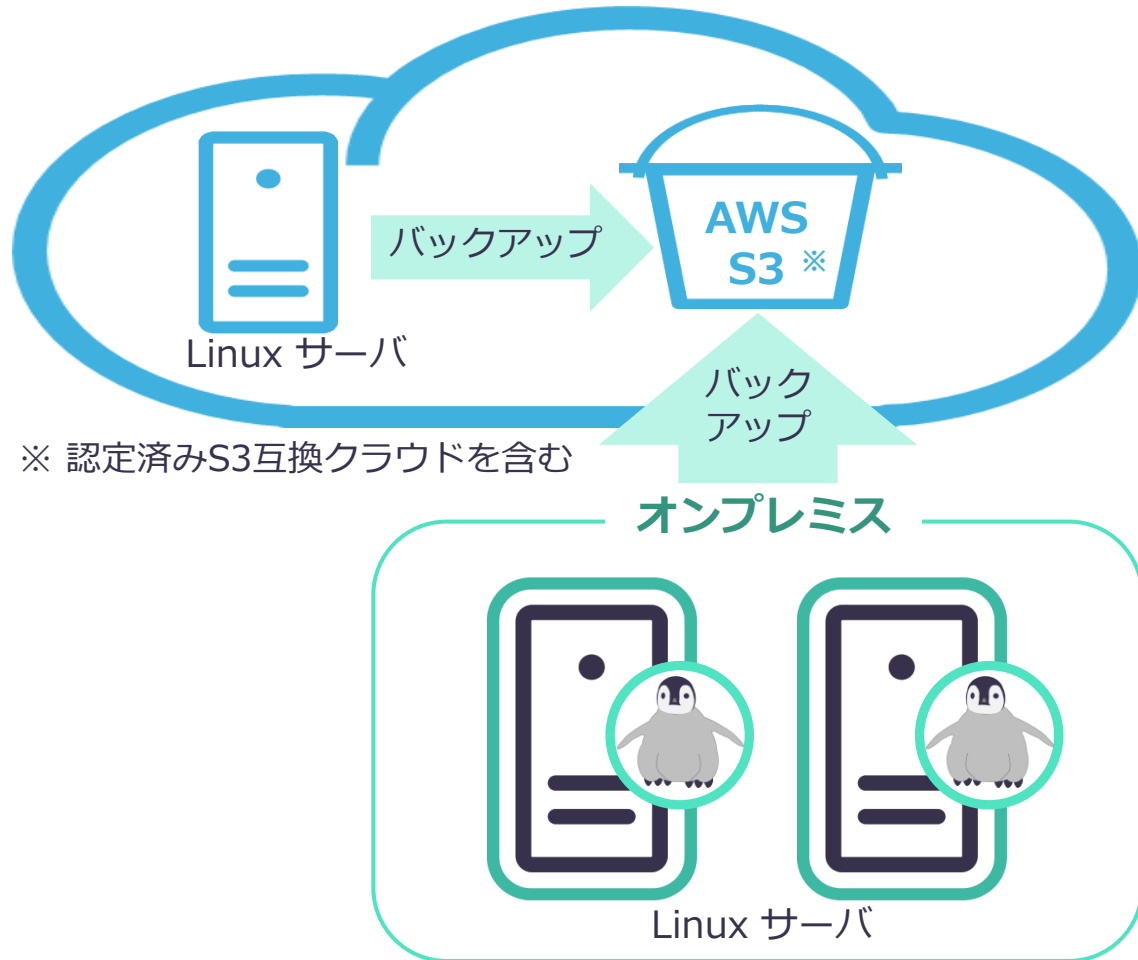


クラウド ストレージ活用で災対コストを削減



C) Linux サーバを S3 へ直接バックアップ

クラウド ストレージを利用して Linux の**災害対策を手軽に実現**



※ 認定済みS3互換クラウドを含む

オンプレミスのディスク削減

Linux のみで構成可能

オンプレミスへのBMRや
ファイル単位のリストアも可能

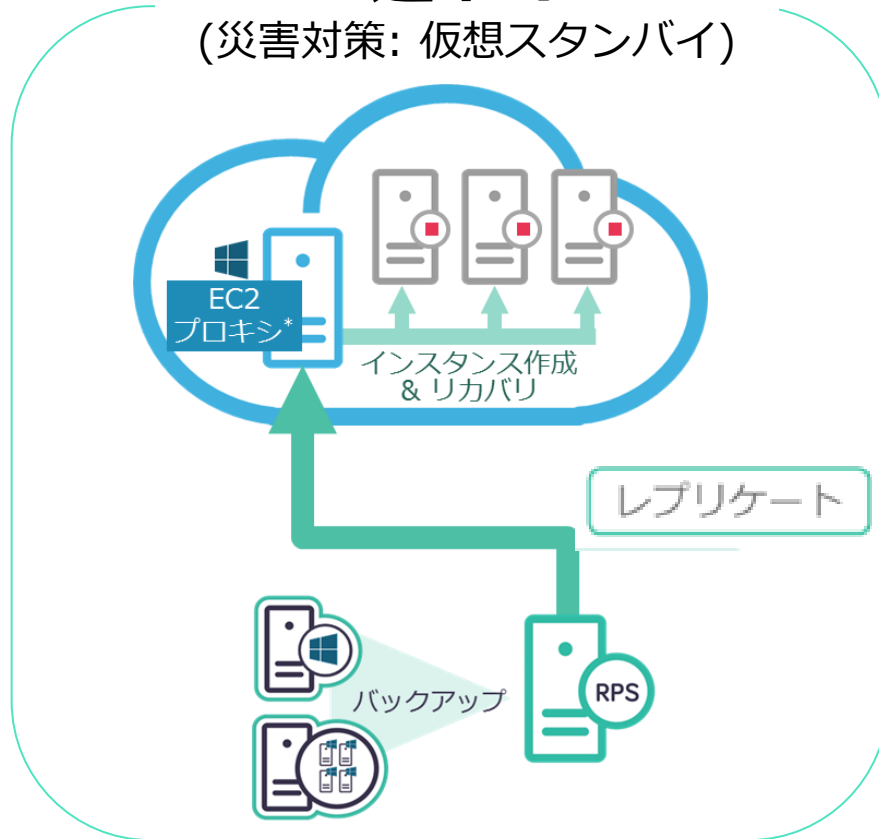


D) EC2/Azure で Windows サーバを仮想スタンバイ

リストア時間 “**ゼロ**” でクラウドに**即!** 事業継続

通常時

(災害対策: 仮想スタンバイ)



災害時



作成済インスタンスを起動するだけで
業務サービスを即! 再開

大規模災害対応

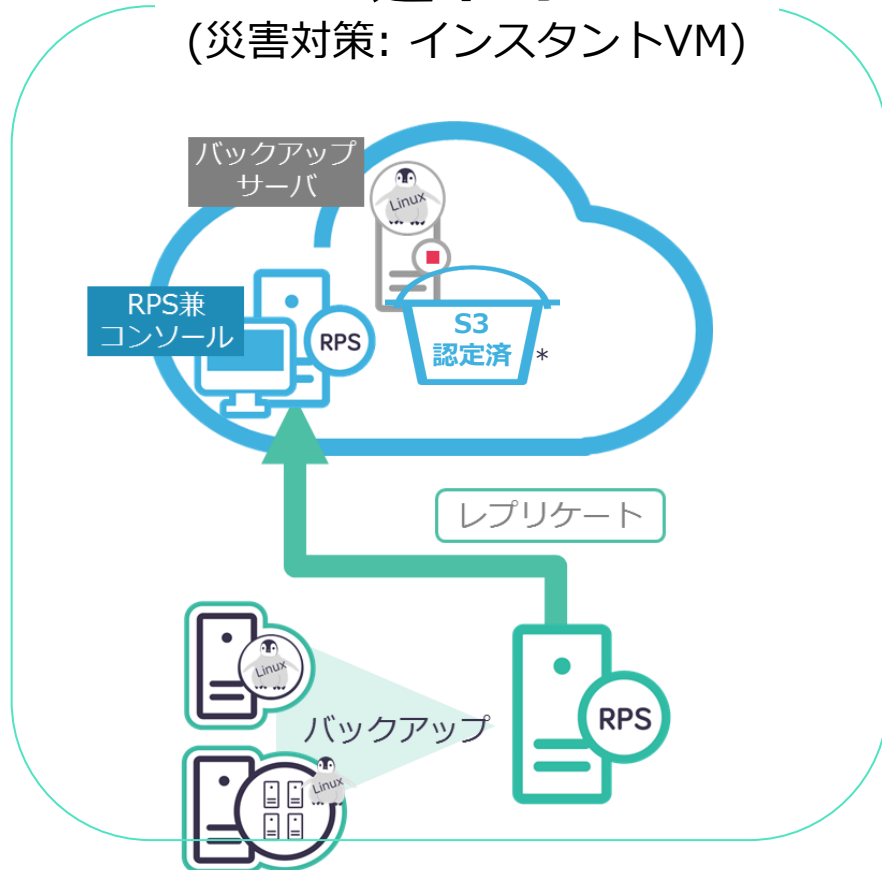
オンプレミスへの復旧も可



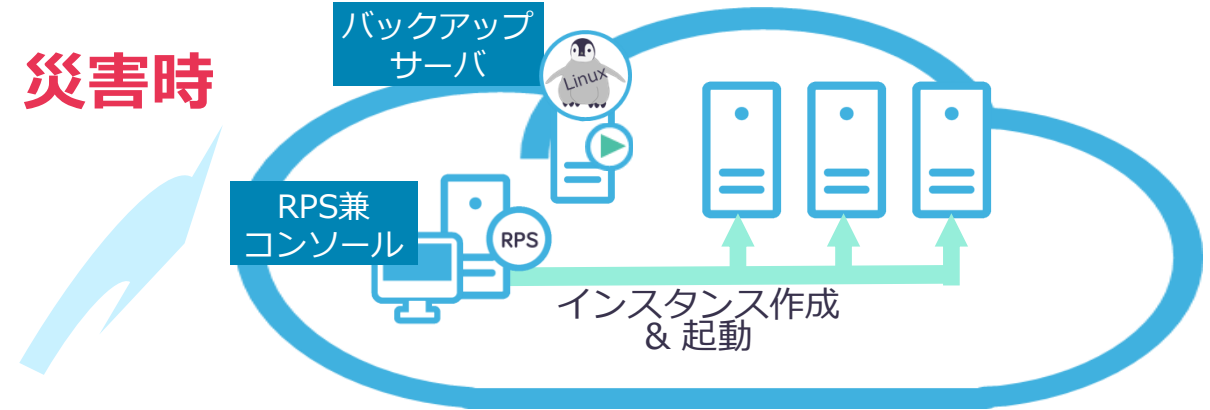
E) EC2/Azure で Linux サーバをインスタント VM リストア時間 “ゼロ” でクラウドに即! 事業継続

通常時

(災害対策: インスタントVM)



災害時



4ステップのウィザードでインスタンスを作成し、業務サービスを即! 再開

大規模災害対応

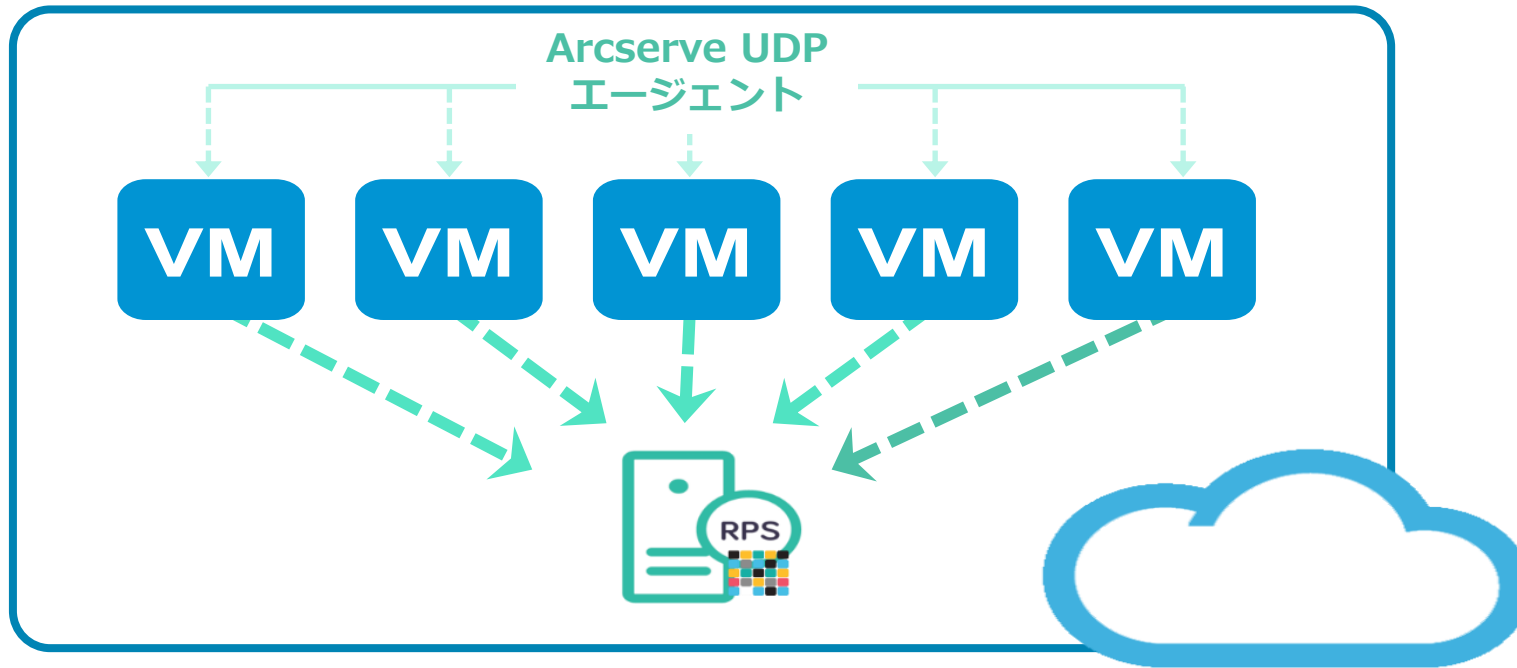
オンプレミスへの復旧も可

*インスタントVMをS3にバックアップし、オンプレミスへBMR可



F) クラウド コンピュータをバックアップ

オンプレミスと同等機能・操作のバックアップとリストア



ファイル / システムの消失・破損に備え
クラウドでもバックアップは必要です

ベアメタル復旧 ※

ファイル復旧

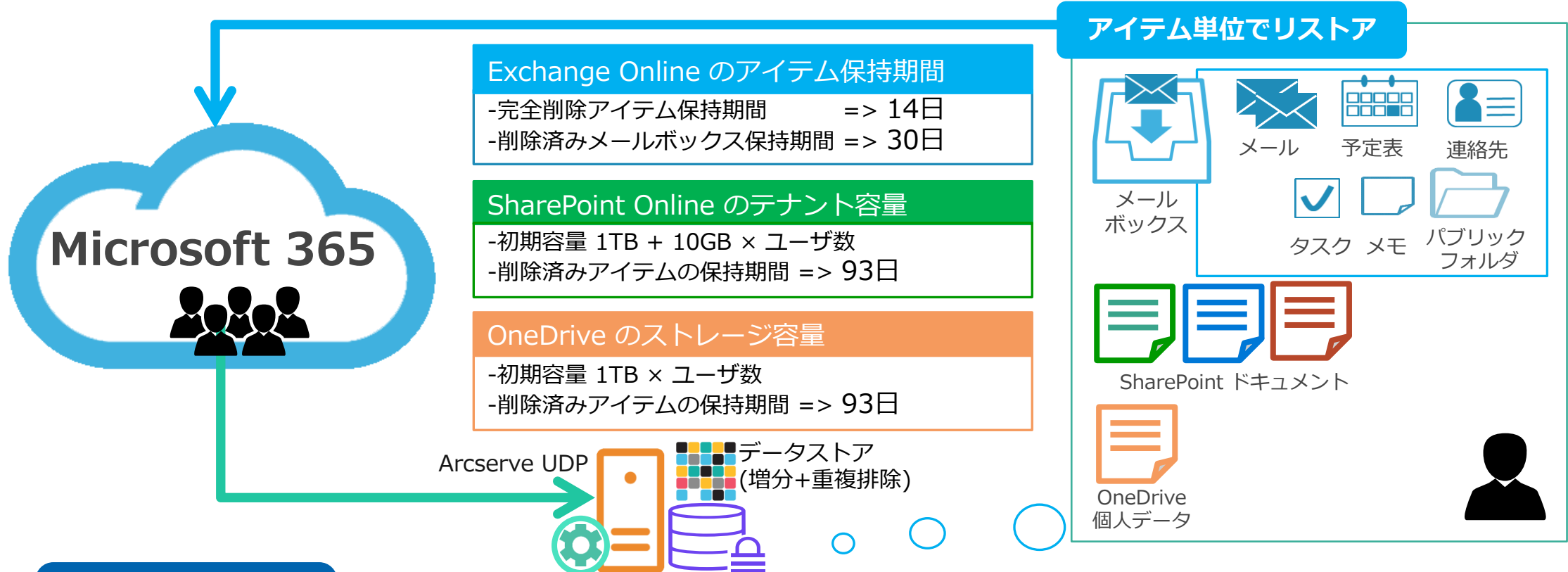
アプリケーション復旧

※ ブートイメージから起動可能なクラウドでのみ利用可能



G) Microsoft 365 をバックアップ

クラウドの制限に縛られず、いつでも復元できる体制を構築



サブスクリプションの有効利用！

1ライセンスでメール、SharePoint に加え OneDrive のバックアップが可能



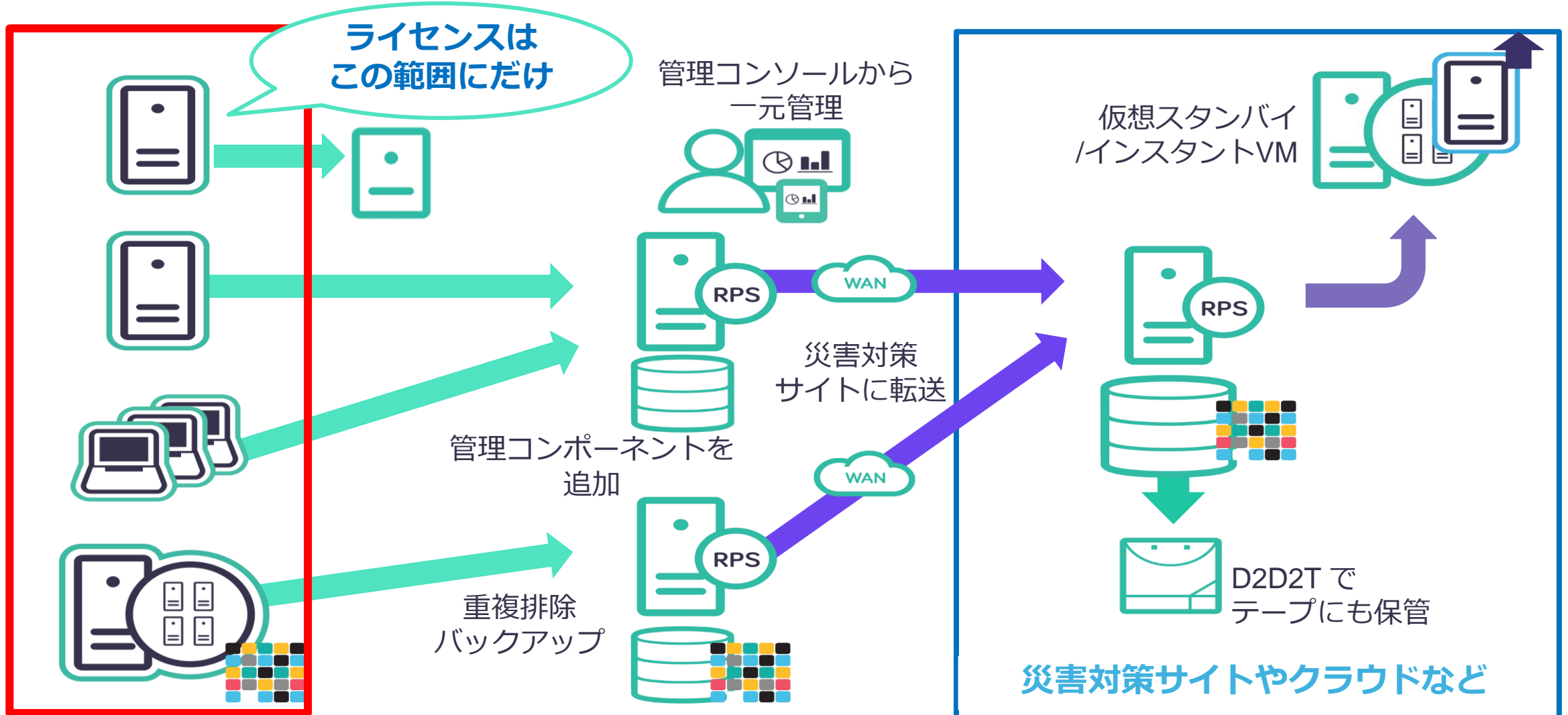
4. 購入が容易

どんなに優れた製品でも
高価すぎたり
見積もりが複雑だったら
提案や購入していただけません





機能を追加・拡張しても、追加購入は不要





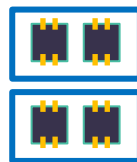
ソフトウェアの課金方法の選択



サーバ台数 課金 (per Server)

保護対象の物理サーバ台数分の
ライセンスを購入
(物理サーバに適用)

Advanced



CPU ソケット数 課金 (per Socket)

保護対象サーバのCPUソケット
数分のライセンスを購入
(未使用ソケット分は不要)

Advanced/
Premium/Premium Plus



データ容量 課金 (per Terabyte)

保護対象サーバの総データ容
量分のライセンスを購入 ※1

Advanced/
Premium/Premium Plus

注:

1. Workstation Edition はクライアントPC台数の課金
2. Exchange, SharePoint および OneDrive はユーザ数での課金

※1 Microsoft 365 データの保護も可能

< Arcserve UDP の価格情報および購入方法はこちらを参照ください >

<https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/licensing-options/>



3つのエディションから要件に合わせて選択

バックアップ要件	Edition			サーバ用	クライアント用	利用 コンポーネント
	Advanced / for AHV 10万円~	Premium 20万円~	Premium Plus 30万円~	Workstation		
イメージバックアップ/共有フォルダ (CIFS/NFS) のバックアップ	✓	✓	✓	✓	✓	Arcserve UDP
重複排除 (ノード内 & ノード間)	✓	✓	✓	✓	✓	
物理・仮想環境・クラウド上の Windows・Linux を統合管理	✓	✓	✓	✓	✓	
仮想マシンのエージェントレスバックアップ	✓	✓	✓	✓	✓	
アプリケーションのオンラインバックアップ	✓	✓	✓	✓	✓	
バックアップデータのレプリケート (遠隔地やクラウドへの転送で2重保管)	✓	✓	✓	✓	※2	
ベアメタル復旧	✓	✓	✓	✓	✓	
仮想スタンバイとインスタントVM (容易な実装で業務継続)	✓	✓	✓	✓	✓	
バックアップデータのオフサイト保管 (D2D2T・D2D2C・D2C)	✓	✓	✓	✓	✓	
ストレージのハードウェアスナップショット対応		✓	✓	✓	✓	
バックアップデータの有効性検査 (アシュアードリカバリ)とSLAレポート		✓	✓	✓	✓	Arcserve Backup
役割ベースの管理		✓	✓	✓	✓	
テープへ直接バックアップできる Arcserve Backup 全機能 Oracle RMAN 方式 / Domino、UNIXのデータ保護のバックアップ		✓	✓	✓	✓	Arcserve Replication/HA
Arcserve Replication ファイル サーバのリアルタイム複製		✓	✓	✓	✓	
Arcserve Replication アプリケーション サーバのリアルタイム複製				✓	✓	
Arcserve High Availability ファイル / アプリケーション サーバの自動切替 ※1				✓	✓	

※1 日本でサポートされている機能・動作要件が対象です。

※2 Microsoft SQL Server Express Editionのみオンラインバックアップをサポートします

※3 Microsoft365の保護には、別途サブスクリプション(10ユーザ1年メンテナンス含む)を提供しています。



ソフトウェア新規購入価格の例

エディション	サーバ単位 (Server)			ソケット単位 (Socket) ※1		
	1年 メンテナンス	3年 メンテナンス	5年 メンテナンス	1年 メンテナンス	3年 メンテナンス	5年 メンテナンス
Advanced	¥100,000	¥134,000	¥168,000	¥100,000	¥134,000	¥168,000
Premium	-	-	-	¥200,000	¥268,000	¥336,000
Premium Plus	-	-	-	¥300,000	¥400,000	¥500,000

エディション	容量単位 (キャパシティ) ※2					
	1TB以下			1TB超		
	1年 メンテナンス	3年 メンテナンス	5年 メンテナンス	1TBを超える場合は 弊社または販売パートナーまで お問い合わせください		
Advanced	¥615,000	¥821,000	¥1,027,000			
Premium	¥1,024,000	¥1,366,000	¥1,708,000			
Premium Plus	¥1,797,000	¥2,397,000	¥2,997,000			

価格表: <https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/licensing-options/>

※1: 物理マシンの使用中のCPUソケット数に対して課金されるライセンス

※2: 保護対象データの合計サイズ(TB単位)に対して課金されるライセンス



アプライアンス : Arcserve UDP 8000 シリーズ

Arcserve UDP をプリインストールしたバックアップ専用アプライアンス
 ストレージ容量 **4TB~80TB** の 7 モデルを用意



1U モデル		価格(税抜)
8100	(RAID-1: 4TB)	2,800,000 円
8200	(RAID-5: 12TB)	3,800,000 円
8200-6	(RAID-6: 8TB)	3,200,000 円
8220	(RAID-5: 24TB)	6,800,000 円
8220-6	(RAID-6: 16TB)	5,200,000 円

2U モデル		価格(税抜)
8400	(RAID-6: 40TB)	12,000,000 円
8420	(RAID-6: 80TB)	22,000,000 円



Arcserve クラウド サービス : Arcserve UDP Cloud Hybrid

東日本リージョン (DraaS対応)	
Storage - 1 TB	¥192,000
Additional Storage - 1 TB	¥192,000
Compute - 1 vCPU & 4 GB RAM	¥63,000
Compute - グローバル IPv4 アドレス	検討中
西日本リージョン	
Storage - 4 TB	¥816,000
Additional Storage - 1 TB	¥204,000

月額換算
16,000円
/ TB

月額換算
17,000円
/ TB

※ すべてのサービス項目は1年サブスクリプションです。

※ 価格は税抜です

※ Microsoft 365のバックアップ以外では、一次バックアップ用に Arcserve UDP が必要です。



5. 導入前後も充実した支援体制

機能や価格だけでは最終的に選んでいただけません





導入前の支援体制:

ご購入前のお問い合わせ窓口



**Arcserve ポータルサイト : [arcserve.com/jp](https://www.arcserve.com/jp)
カタログセンター (カタログ、技術資料)**

<https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/catalog-center/>

Arcserve カタログセンター

検索



Arcserve ジャパン ダイレクト (ご購入前のお問い合わせ)

例 : 「この構成で必要なライセンスを教えてください」、「Arcserve UDP はXXXに対応していますか?」、「XXXはサポートされますか?」

フリーダイヤル : 0120-410-116

(平日 9 : 00 ~ 17 : 30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます)

Webフォーム : <https://www.arcserve.com/jp/about/contact/call-me/>



導入前の支援体制:

日本語での情報が充実、 Arcserve ポータルサイト

カタログ センター (カタログ、技術資料) :

<https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/catalog-center>

公開情報は **すべて日本語**

UDP - プレゼンテーション:

製品のご紹介 7.0 v6.5 v6

新機能のご紹介 7.0 v6.5 v6

Arcserve が選ばれる5つの理由(わけ) - 2018年版

UDP - よくある質問と回答:

よくある質問と回答 7.0 v6.5 v6

ライセンスに関するよくある質問と回答 7.0 v6.5

Arcserve UDP v6.5 アップグレード/下位互換に関するよくある質問と回答

UDP - ホワイトペーパー:

Arcserve UDP 7.0 仮想環境における大規模並列バックアップ検証レポート

UDP for Windows - 技術資料:

ライセンスガイド 7.0 v6.5 v6

Agent 環境構築ガイド(インストールからベアメタル復旧の手順) 7.0 v6.5 v6

環境構築ガイド コンソール + 復旧ポイントサーバ(フルコンポーネント) インストール編 7.0 v6.5

Server プロパティシート 7.0 v6.5 v6

Agent for Windows プロパティシート 7.0 v6.5 v6

バージョン別機能一覧

Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ (RPS) サイジングツール

Arcserve UDP 7.0 Nutanix AHV エージェントレスバックアップ手順

Arcserve UDP 7.0 サーバ構成とスペック見積もり方法

Arcserve UDP コンソールで指定するテープへの2次バックアップ



増加中! 公開済みお客様事例

Arcserve UDP

佐倉市様：本庁舎とデータセンター間のレプリケーションで住民サービスの継続性を確保

保健同人社様：オンプレとクラウド環境の透過的バックアップと災害対策を一度に実現

ライフサポート様：“待ったなし”の業務を、PC故障による停止から救ったArcserve UDP

クレオ様:Arcserveでバックアップサービス提供のリードタイムを約1/5に短縮

日本製鋼所 横浜製作所様:15分で起動可能なBCP体制をArcserve UDPで確立

ブロックシステムデザイン様：ホスティングサービスの月額課金オプションに採用

光華女子学園様：データ爆発とソフトが混在する懸念だらけのバックアップを大改革

旭化成ホームズ様：バックアップ高速化、柔軟なデータ保護体制で災害対策も強化

清水建設様：全国の工事現場のサーバ 650台を自動バックアップ

霧島酒造様：バックアップ速度、データ圧縮容量など実測値大公開

<https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/catalog-center/> で **お客様導入事例** を  クリック

Arcserve UDP Appliance

江別市様：Nutanix AHVへのバックアップ アプライアンス導入で運用負荷を軽減

入間市様：新仮想基盤へのバックアップ アプライアンス導入で行政サービスを向上

SB C&S様：流通業務システムのバックアップ性能低下を40%改善し、BCP対策も実現

甲南女子大学様：アプライアンスの導入でメールデータの復旧をわずか20分で実現

国際基督教大学様：大学教育を支える仮想化基盤（HCI）でバックアップ運用を大幅に改善

ドン・キホーテ様:バックアップ環境の統合で数百万円ものコストを削減

霧島ホールディングス様：アプライアンスで実現する仮想化基盤へのサーバ移行とBCP

サンマテオ信用組合様：混在環境のバックアップ容量を82パーセント減少



導入後の支援体制:

経験豊富な日本人スタッフによるテクニカル サポート

96%のお客様が「満足」と回答 (前年比で0.2% 向上)

お客様の声 (一部抜粋)

Arcserveを今回初めてセットアップする事になり心配があったが 予想以上に厚くサポート対応して頂けて満足しています。

今回ばかりでは無く、御社のサポートには大変満足しております。今後もメンテナンス契約を継続して行きたいと思えます。

的確な対応と提示で迅速に解決出来ました。同時期に発生した他社ソフトの障害では、サポート契約があるにも関わらず「事例が無い」、「コードの情報が無い」などを理由にまともに対応してもらえないことがありました。

充実した技術情報がいつでも参照可能

<https://support.arcserve.com/s/topic/0TO1J000000I3pdWAC/arcserve-udp?language=ja>

もちろん
ナレッジも**日本語**
です

クラウド上の仮想サーバのバックアップでライセンス不足エラーが発生する

434 ビュー ・ 2019/06/07 ・ Knowledge Base

Hyper-Vゲスト/ホストの同時バックアップでライセンス不足エラーが発生する

1045 ビュー ・ 2019/05/24 ・ Knowledge Base

Arcserve UDP のバージョンと適用されている更新を確認する方法

3622 ビュー ・ 2019/05/20 ・ Knowledge Base



導入前後の支援体制:

全国を網羅したパートナー・ネットワーク

650 社以上 の販売パートナー、OEM、ディストリビュータ

- ◆ 販売パートナーの最新情報はこちらから

<https://www.arcserve.com/jp/partners/find-a-partner/>

Arcserve パートナー サービス/ソリューション一覧: <https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/msp-solution-list/>

- ◆ MSPパートナーの最新情報はこちらから

<https://www.arcserve.com/jp/find-a-managed-services-provider/>

Arcserve パートナー サービス/ソリューション一覧: <https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/msp-solution-list/>



最後に





Arcserve が選ばれる 5つの理由 (わけ)

1. 導入実績と日本市場での経験
2. ニーズに応えた豊富な機能
3. クラウドも強力サポート
4. 購入が容易
5. 導入前後も充実した支援体制



百聞は一見にしかず

Arcserve UDP <前編> 簡単、まるごと、イメージ バックアップ

Arcserve UDP <後編> 簡単、まるごと、イメージ バックアップ

Arcserve UDP for Linux 簡単、まるごと、イメージ バックアップ

Arcserve Backup 「入門コース」

Arcserve Backup による Windows Server のシステム復旧コース

Arcserve Replication/HA <前編> 災害対策・業務継続に！

Arcserve Replication/HA <後編> 災害対策・業務継続に！

Arcserve セミナー

検索



最新情報はこちらから

<https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/seminar/>



arcserve®